



表紙紹介

青空の下、4月8日、庶野小学校に真新しいランドセルを背負った8名の新入生が入学し、全校児童は42名となりました。「自分の好きなポーズを」とお願いすると、素直に元気よく応じてくれてありがとう。学校教育目標である「かしこく」、「明るく」、「たくましく」成長してくれることを願います。

P 2 平成30年度3月定例会
補正予算・条例改正他

P 3 予算特別委員会 質疑

P 4-5 平成31年度予算の概要
予算特別委員会を終えて

P 6-8 一般質問4名 5件

P 9 全員協議会 報告

P 10 「この人に聞く」
えりも町役場 議会事務局長
脇坂 祐輔さんにインタビュー

えりも町議会第4回定例会

3月4日～14日までの日程(5日～12日まで休会)で第4回定例町議会が開催され、平成30年度予算の補正、条例の改正等、また最終日には、平成31年度の予算を審議するための予算特別委員会が開催され、一部反対意見があったものの、すべて原案通りに可決されました。。

補正予算

〈一般会計〉

- ・除雪運転委託 1200万円
除雪回数の増加に備えるため
- ・ふるさと納税記念品費 ▲6500万円
ふるさと納税寄付金の減少に伴い返礼品等も減少するため
- ・介護保険ショートステイ及びデイサービス事業補助金 378万1000円
特養老人ホーム「やまと苑」に対する補助金



ショートステイ利用者が減少したやまと苑

- ・鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業補助金 ▲541万2000円
捕獲頭数が減少したため

- ・診療所特別会計繰出金 3300万円
診療所収入の減少に伴う赤字補填

- ・分収造林事業委託料 ▲509万円
施業面積の縮小のため

- ・アイヌ住宅新築等資金貸付金 ▲480万円
新築等の申請がなかったため

〈介護保険特別会計〉

- ・居宅介護サービス給付費 900万円
居宅介護サービス利用者が増加したため

条例制定・改正

- ・えりも町一般職の任期付職員
の採用に関する条例の制定

国の法律制定に伴い、専門的知識や優れた識見を有する者、時間外や繁忙期の短時間勤務職員を任期を定めて採用することができるとするもの(当面は医師についてのみ適用)

- ・えりも町公共施設等
総合管理基金条例の制定

複合施設建設中止に伴い、「えりも町複合施設整備基金条例」を廃止し、同条例を制定するもの

- ・えりも町非常勤特別職の報酬等に関する条例の改正

「複合施設整備検討委員会委員」を削除し、「学校運営協議会委員」、「地域学校推進委員会委員」を加え、ともに報酬を月額5500円とする

- ・職員の定年等に関する
条例の改正

医師の定年を65歳から70歳に引き上げる

予算特別委員会

定例町議会最終日の3月14日、町側から提示された平成31年度予算案に対する質疑応答が行われました。診療所特別会計では、一部反対意見があったものの賛成多数で可決され、一般会計及び残りの5特別会計では全員一致で可決されました。(質疑を抜粋して掲載します)

診療所給食委託料

質疑

ここ数年、入院患者数は減少傾向にあるが、給食委託料は毎年増加している。

約2760円になり

あまりにも高すぎる。

平成31年度の予算

でも、約974万円

が計上されており、

入院患者が減少を

続けている現状から

みても、委託料を見直

すべきではないか。

答弁

給食委託料は、入院患者1日8人を基

○は賛成、×は反対

川村	○	上野	○
石川	○	平野	○
渡部	○	笹谷	○
大坂	○	鈴木	○
高松	×	橋本	○

本として、それ以上でもそれ以下でも委託金額は変わらないということと契約している。今後、入院患者の動向を見ながら見直しも含め検討していきたい。

公共施設の改修は

質疑

高齢者センターの浴槽はとも時代にあつたものとはいえず、施設自体も高齢者の健康づくり、若者の体力づくりができる近代的な施設にするべきだと思うが。

質疑

31年度は福祉センター

質疑

31年度は福祉センター

キャンプ場は、赤字を出している公共施設の中でも町民への貢献度は低い。財政が厳しい中、思い切つて廃止

し、新しいものに投資していくという考えも必要では。

答弁

現在、各公共施設の担当課で今後どう整備していくのか、廃止すべきなのか、意見を取りまとめている。その後、全庁的な検討会を開催し、31年度の早い時期に結論を出していきたい。

うに祭り

質疑

昨年7000人もの人が訪れたが、せっかく来たのに買えなかったという苦情があった。4月上旬に札幌で行われるうにのPRや4月下旬の当町のうに祭りで十分なの量を確認できるのか。

答弁

また、安価に生産者から調達している実態をどう考えるか。町としては多くの観光客に来ていただき感謝している。漁組や生産者とも十

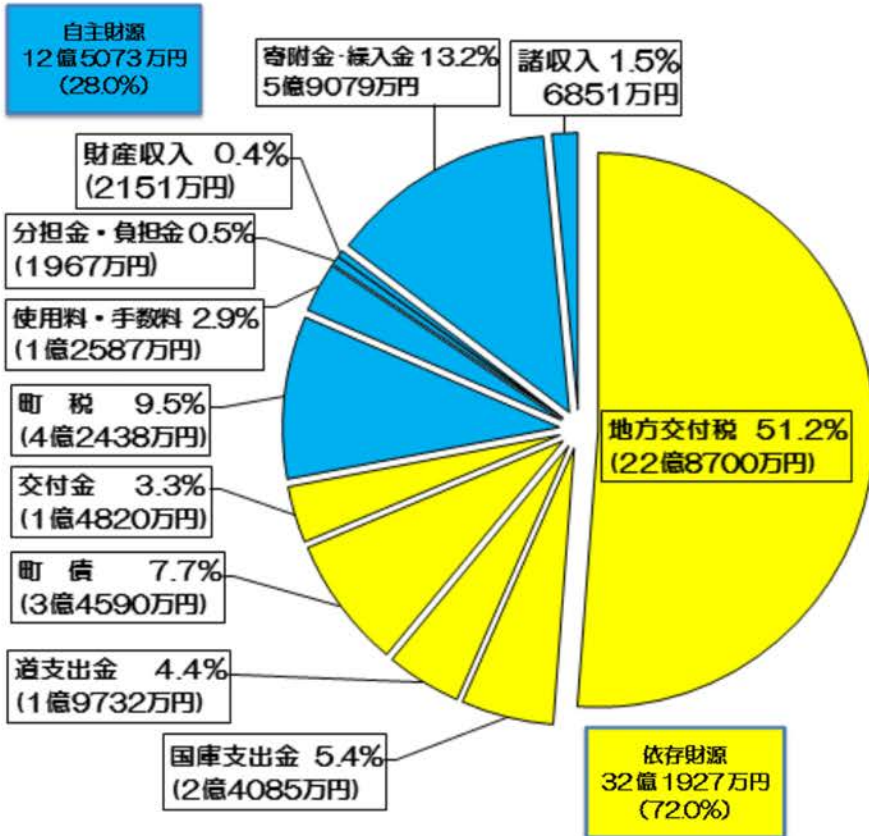
分協議しながら長く続けられるイベントとしてできる限りの支援をして行きたい。



今年も集客が期待されるうに祭り

前年度比 5億3千万円減

歳入
44億7000万円



えりも高校体育館長寿命化事業 2,030万円

●本年度の主な新規事業

1. 福祉センター改修事業 (教育支援課)

1,975万円

多目的トイレの新規設置、既存のトイレの洋式化や段差解消など、誰もが利用しやすい施設となるよう改修を行います。

2. 共同作業施設設置事業補助金

(産業振興課) 2,636万円

水産業の基盤強化を推進するため、庶野地区に設置される共同作業施設の建設費の一部を補助します。

3. えりも高校体育館長寿命化事業 (えりも高校) 2,030円

えりも高校体育館の屋根をより耐久性の高い材質に交換することで、施設の延命化を図ります。

4. リサイクル用収集車購入事業 (町民生活課) 1,486万円

ごみの減量に取り組み、環境にやさしいまちづくりを推進するため、資源ごみ用収集車を更新します。

5. えりも中学校給食配送車購入事業 (教育支援課) 670万円

給食の調理を行っているえりも小学校からえりも中学校まで、給食を配送する車両を更新します。

6. えりも型地域学校 (CS) の導入 (教育支援課・えりも高校) 59万円

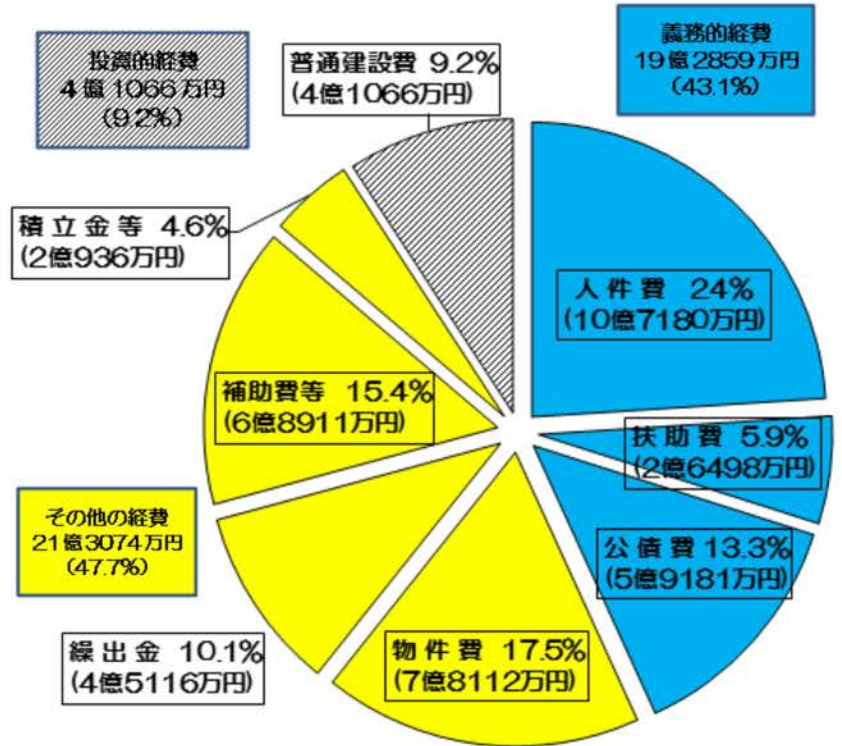
町内の各小学校・中学校・高校に学校運営協議会制度を導入し、地域と学校が一体となり学校づくりを進めることで、児童・生徒への教育の充実と深化を目指します。

7. 産婦健康診査委託・産後ケア助成事業 (保健福祉課) 29万円

母子の健康をまもるとともに育児の負担を軽減するため、出産後健康診査の医療機関への委託事業や、母乳外来の受診費用の一部を助成し、子育てを支援します。

平成31年度一般会計予算

歳出
44億7000万円



予算特別委員会を終えて

委員長 上野 勝廣



本委員会を閉会するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。当初予算の審査という大変重要な案件の審議ではありましたが、委員並びに理事者・説明員のご協力を賜り、無事全会計の審議を終えましたことは、誠にありがたく、心から感謝申し上げます。

さて、町長の執行方針にもありますとおり、当町の財政状況は、平成31年度においても、極めて厳しい状況にあります。本委員会の審査の中で、それぞれ建設的な意見や指摘がありました。これらを十分に踏まえ、今後の町政の発展に役立てていただきますよう、委員をはじめ理事者、説明員皆様に関心をお願いをしまして、ご挨拶いたします。ありがとうございました。

※ 特別会計の主な増減理由

< 国民健康保険 >

診療所特別会計繰出金 = ▲13,000千円
 一般被保険者療養給付費 = ▲32,704千円
 国民健康保険事業費納付金 = ▲16,698千円

< 簡易水道 >

機械・計装設備更新事業 = 63,660千円

< 診療所 >

人件費 = ▲7,221千円

< 下水道 >

公債費 = ▲3,987千円

< 介護保険 >

保険給付費 = 38,350千円

< 後期高齢者医療 >

後期高齢者医療広域連合納付金 = 2,000千円

● 予算総括表

単位(千円)

会計区分	予算額	前年比
一般会計	4,470,000	▲530,000
国民健康保険特別会計	990,000	▲63,000
簡易水道特別会計	190,000	60,000
診療所特別会計	342,000	▲7,000
下水道特別会計	175,000	▲5,000
介護保険特別会計	450,000	40,000
後期高齢者特別会計	66,000	2,000
小計	2,213,000	27,000
総計	6,683,000	▲503,000

そこが聞きたい！ 一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。



問 ホタテ・ホッキの養殖を

答 費用対効果が未知数

問 鈴木勇高議員

当町の主力漁業である昆布漁やさけ定置網の漁獲量は、毎年の変動が大きく不安定な状況である。

さらなる水産事業の発展のためにホタテ・ホッキ貝の稚貝の放流、東洋・歌別漁港での吊るし養殖の実証実験をする考えがないか。

答 産業振興課長

ホタテは、当町にも生息しているが資源量は多くない。オホーツク海は稚貝を放流し漁獲するが、当町はホタテ漁業に適した漁船もなく、費用対効果が未知数であるため実施する考えはない。

ホッキは、町の各海域で漁獲され重要な資源と考える。

現在、道内でホッキの種苗生産や放流は行われていないが、価格の安い小型のホッキを

購入し移植放流している地域はある。

当町では資源保護のため漁獲された小型のホッキは、船上から直接再放流している。

町内の資源量は比較的良好であり、現有資源の適正な管理が有効と考える。

次に、「東洋・歌別漁港での吊るし養殖の実証試験」は、漁港内は漁船の航行及び係留や悪天候時には多くの漁業者が浸けコンブをするなど、漁港規模を考慮しても適さない。



マツカワや真ツブの養殖に
取り組む栽培漁業えりもセ
ンター

問 風力発電にどう関わるか

答 できる範囲で協力



当初東洋地区に建設された風力発電

問 鈴木勇高議員

当町は、環境に恵まれ、日本有数の風力発電適地である。そこで町の将来にとって有望な事業と思うがどうか。又今後どのように関わっていくか。

答 産業振興課長

えりも町における風力発電事業は、以前から計画が持ち上がったが送電網などの問題から頓挫したが、この2月に住民説明会を行った民間事業者は自社で送電網を整備すること、今後、「環境アセスメント」や「各種の許認可」など必要な手続きが多々あるが、事業の早期実現が望まれるところである。

民間の事業であり、町の協力は限られるが、事業が早期に正式決定されるよう、できる範囲でバックアップしていきたい。

問 北斗病院と提携し医師の確保を

答 派遣の方法を総体的に検討

問 橋本維応議員



近年、医師が都市部に集中し、地方の医師不足が深刻化している。様々な要因があるが、当診療所でも、医師定着の見通しがたたず、機能低下が心配され、抜本的な見直しが必要と考える。

答 診療所事務長
地方の医師不足は、都市からの距離、家族の理解、住環境等、様々な要因がある。①まずは、診療所として常勤医師の体制を整えるのが第1であるが、そのうえで代診医師は現在、北海道地域医療振興財団を中心に派遣してもらっている状況である。今後は、それらに加え、北斗病院や厚生病院等と、どのような派遣方法があるのか、総体的に検討しながら、医療の提供に努める。

近年、医師の確保が難しい「えりも国保診療所」



② 広尾町と北斗病院の関係は、医師の派遣を中心に北斗病院に協力をお願いし、経営・運営等は、広尾町国保病院が独立して行うというものである。「独立行政法人化」になると、現在勤務している医師や看護師等の身分は、公務員からの非公務員となり、また赤字経営に陥った場合は、町から補助など必要となることから、「独立行政法人化」の検討は慎重に行っていく。

問 えりも岬レストハウスの再建を

答 国立公園化を注視し協議

問 大坂庄吉議員



近年個人旅行が増えている状況で、昨年コンブポートクルーズ事業をえりも観光協会が立ち上げた。海からの発信としてクルージングが楽しいと聞く。安全に多くの方が利用できればと願う。風光明媚なえりも岬にきてもらい、えりもの魅力や特産品の提供の場、また来訪者の憩いの空間としての岬レストハウスの再建を望んでいるが、焼失して3年が経過し建設に向けて前向きな話はない。民間建設は困難なので、町主導で道の駅も念頭に入れ、特別建設

委員会等を立上げて、再建への方向性を示すべきと考える。

また、通過型観光地からの脱却については、どのようにするか。

答 産業振興課長

昨年11月からえりも観光協会が実施している襟裳岬の「コンブボートクルーズ」は、冬期間で気象条件が厳しいなか、運よく乗船できた観光客からは非常に好評を得ており、春から秋にかけて比較的気象条件が良好な時期の運航に期待がかかる。えりも岬レストハウスについては「観光協会法人化の問題」や「再建を希望される店舗の方の問題」など、様々な課題があり停滞しているが、今後えりも岬周辺が国立公園化される動きもあり、その動向を注視し、関係機関と連携を取りながら慎重に進めていく。通過型観光地からの脱却については、町には大型宿泊施設や温泉施設がないので難しい問題であるが、近年増えている個人旅行者に対し、「コンブボートクルーズ」や「豊似湖ヘリコプター遊覧飛行」、特産品であるウニやモガニ、マツブなどをパッキングした宿泊プランの開発など、少しでも町に滞在してくれる方が増えるよう、関係機関と協議していく。

えりも岬レストハウスの問題は、観光協会法人化の問題や再建を希望される店舗の方の問題など、様々な課題があり停滞しているが、今後えりも岬周辺が国立公園化される動きもあり、その動向を注視し、関係機関と連携を取りながら



解体後のえりも岬レストハウス跡地

問 地域公共交通の在り方は 答 各地の事例や制度を調査

問 高松亮裕議員

えりも町の公共交通手段としてハイヤーとJRバスがあるが、数年前にハイヤーが一時的撤退し、JRバスからは、すぐに撤回されたものの減便の提案がなされた経緯がある。

現在は利用者の減少により収益が悪化し、町が財政支援してなんとか維持している状況であり、このままではさらなる財政の圧迫、減便、撤退となる可能性は十分考えられる。

町民の移動手段を今後どう確保していくのか、デマンドバス等を活用した町民のニーズ

に合った交通のあり方、高齢者の免許返納後の移動手段の確保、JRバスとスクールバスや福祉バスとの連携・効率化、住民が利用しやすいバス停の見直しや料金設定等々、様々な視点からどういう選択がえりも町として一番良いのか考えなくてはならない時期に来てい

ると思うがお考えは。

答 企画課長

町としても町民の移動手段の確保については同様の認識を持っており、当面は運休が続くJR日高線に関連し、JR北海道とバス運行



乗客の減少が続くJRバス



体制について町民や議会の意見も聞きながら個別に協議を進めていく。一方、町民の要望に応える新たな交通網の整備、町と町をつなぐ町外への路線の確保、管内の統一したバス路線との整合性など、今後町としての基本的な方向性を示すためにも、まずはスクールバスや福祉バスとの連携も含め、役場内において各地の事例や制度の調査検討に取り組み、その上で協議会を立上げて対応を検討していきたい。

4つの案件を町と協議

東洋小 地域懇談会 2月7日

PTA 「統合はやむを得ない」

- ・東洋地区各自治会やPTA、老人クラブ等の組織ごとに東洋小の今後の在り方について議論した結果、概ねPTAの判断に任せるとの結論に至る。
- ・PTAとしては、児童数減少に歯止めがかからないことを踏まえ、「統合はやむを得ない」ということで全体確認した。
- ・町としては、「統合」へ向け、慎重に進めつつ3月中旬に原案を示したい。

ただし、対象住宅等の居住者及び利用者から書面での同意が得られた場合は、この限りではない。

㊦テレビ電波及び航空自衛隊襟裳分屯基地の業務等に影響が発生しないよう、テレビ中継局監視の幹事テレビ局及び襟裳分屯基地と事前に協議の上、必要な措置を講ずること。

㊧事業者は、関係住民に対し個別に事業説明することとし、要請があれば事業説明会を開催すること。

㊨風力発電施設等に起因する第三者への損害に対する賠償責任保険に加入すること。

えりも型地域学校の推進

学校と地域が力を合わせて
児童生徒の成長を支える

- ・「えりもの子はえりもで育てる」を基本理念に、地域と学校が一体となって「えりもの子」の成長を支える学校づくりをめざす。
- ・「学校運営協議会」（委員5名以内）、「地域学校推進委員会」（委員4名以内）を設置する。
- ・31年度は、①校長が定める学校運営方針の承認、②学校運営や必要な支援に関する協議、③地域学校協働活動の推進、④地域やPTAの主体的参画による事業の4つを重点的に進める。

栽培漁業えりもセンターの 運営主体は町協議会

・平成29年3月の火災の後処理で、「責任の所在」、「指揮系統の曖昧さ」等が問題となったことから、関係機関で協議の結果、平成31年以降はえりも町とえりも漁業協同組合で成る「町協議会」が施設管理者として当センターを運営し、マツカワの中間育成事業は、北海道栽培漁業振興公社から業務委託し実施することとなる。

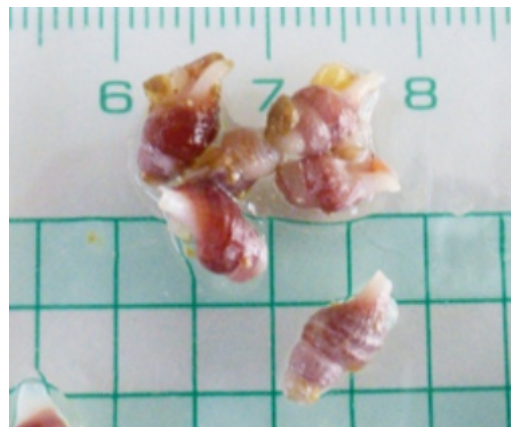
一方、町独自に平成8年から「エゾボラ(真ツブ)」の飼育に取り組み、努力の結果、平成29年頃から産卵量を増やすことに成功し、その生態がしだいに解明されつつある。

風力発電ガイドラインの 見直し

大型風力発電設備にも対応

主な改訂点

- ①対象の施設は小型風力発電(20kw未満)からすべての風力発電機とする。
- ②住宅からの距離は、風車の全高の3倍以上とする。



生まれればかりのエゾボラの稚貝(約1cm)

この人に聞く

えりも町議会事務局長
わきざか ゆうすけ
脇坂 祐輔さん



今回の「この人に聞く」は、4月から議会事務局長に就任した脇坂祐輔さん。昭和47年8月4日生まれでえりも町庶野出身、えりも高校の2期生です。
(取材・石川)

Q まず 議会事務局長としての抱負を
A 自分が、議会に配属になるとは思っていなかった。地方分権が進んで町や議会の責任はますます重くなっています。議会の運営がスムーズに、そして議員の皆さんが活動しやすいように心掛

議会の動き

2月 4日	全員協議会
2月 6日	日高地区交通災害共済組合議会
2月19日	日高の森林（もり）づくりを広げる集い
2月23日	庶野漁港衛生管理施設供用開始記念式典及び祝賀会
2月27日	議会運営委員会
3月 1日	えりも高等学校卒業証書授与式
3月 4日	全員協議会 第5回定例会招集
3月13日 14日	第5回定例会及び 予算特別委員会
3月15日	えりも中学校卒業証書授与式
3月20日	日高東部消防組合議会 日高東部衛生組合議会
3月25日	全員協議会
4月 2日	広報広聴常任委員会
4月 8日	えりも高等学校入学式

けていきたいと思えます。

Q 異動前は、税務課でした。ご苦労は？
A 議会でも度々収納率の事を指摘され、向上のために努力しましたが、多種多様なケースがありとても大変な仕事だと感じました。

Q 休日や時間のあるときは何を？
A 主に読書です。コミックや小説なんでも読みます。「宮部みゆき」や「村上春樹」は好きな作家です。

Q えりも町のこれからで心配なことは？
A 全国的な問題になっていくのですが、人口減少でしょうか。少子化も一つの要因ですけど、若い人が減ると町の産業や行政にも大きな影響があります。

Q 好物とこれから楽しみたいことは。
A そばとうどん、シュークリームも好物です。運動不足なので、少し体を動かすようなこともしてみたいです。それから、もう何年も映画館で映画を見ていないので、面白そうな映画があれば行ってみたいです。

おすすめの映画があれば教えてください。
・今日はありがとうございます。
これからの活躍が期待される脇坂さん



編集後記

元号も「令和」に代わり、山の緑も日増しに鮮やかに変化しているこの頃、人々の動きも次第に活発になってきました。
さて、今「議会だより」も4年間務めた広報広聴常任委員長としての最終号となりました。

単なる情報提供ではなく、皆様にも興味を持って考えていただけるような企画や肩の力を抜いて読んでいただけの「この人に聞く」など、工夫をしたつもりですが、まだまだ不十分でした。

次号からは新しいメンバーでの発行となりますが、皆様にご愛読いただけよう、さらなる努力を重ねて参りますのでよろしくお願いたします。
(高松)

広報広聴常任
委員会委員
委員長 高松 亮裕
副委員長 大坂 庄吉
委員 川村 一治
石川 昭彦
橋本 維応